

やまばと通信

多摩市立図書館 情報誌 196号

夏休み 宿題持って
図書館へ

今号で取材に伺った落合中学校の図書室カウンターです。



「やまばと通信の中」もかへてくが、かれています。うじじい

主な記事

- p.1 「図書館長 挨拶」
市立落合中学校
- p.2 「図書科学大臣表彰」
文部科学大臣表彰
- p.3 「第二次多摩市子どもの読書活動推進計画市民連絡会委員募集」
「秋色おはなし会」
- p.4 「こんにちは 唐木田図書館」

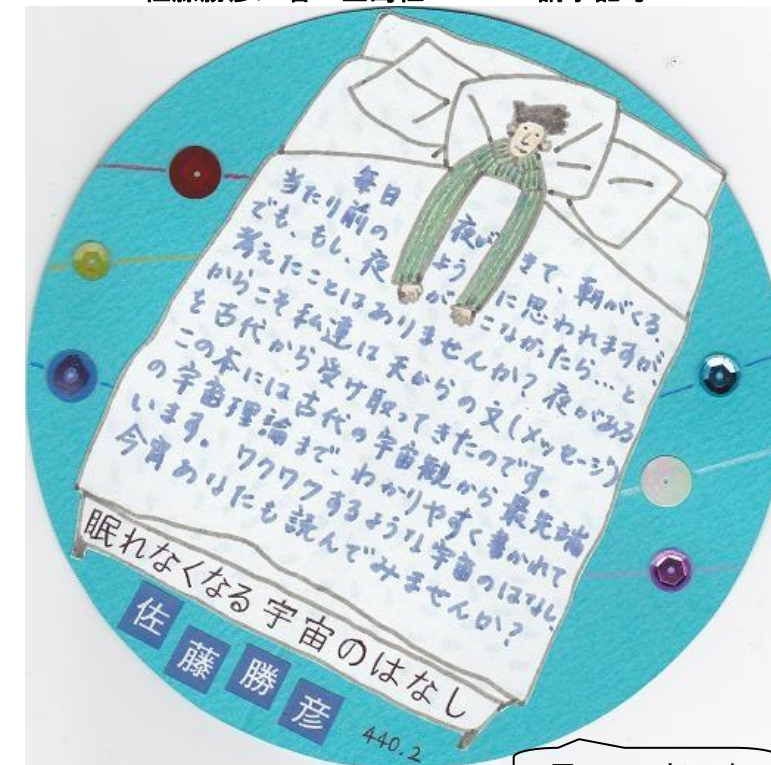
こんにちは。唐木田図書館 です。

唐木田図書館は多摩市で7番目の図書館です。
昨年4月の開館から1年が過ぎ、地元の皆さんに覚えられつつあるところです。
新品の建物に新品の本、という具合にはいきませんでした、窓口スタッフは民間企業の社員らしくキリッとサービスに努めています。
ご紹介している写真は、唐木田スタッフが作成したものです。
ティーンズ資料の展示に限らず、毎月すばらしい企画展示をしていますので、ぜひお立ち寄りください。



平成24年4月に図書館長に着任いたしました
小林弘宜です。
子どもたちは読書を通じて、豊かな言葉を獲得し、想像力を高め、感性を磨き、表現力や考える力を育て、創造性を豊かにしていきます。
多摩市の図書館は、昭和48年の多摩市立図書館開館以来、子どもたちの読書環境の充実に取り組んできました。今年2月、より一層の充実を図るため、「第二次多摩市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。第二次計画では、第一次計画の課題を踏まえ、配慮が必要な子どもへの支援、10代の子どもの向けサービスの充実に取り組みます。
また、多摩市教育委員会では多摩市の子どもの未来について創造し、持続可能な社会を築いていくことができることをめざし、多摩市のすべての公立の小・中学校で持続発展教育(ESD)を推進しています。学校図書館では、子どもたちの読書活動や調べ学習が行われています。学校での活動を支援するため、学校図書館との連携も深めています。
未来を担う子どもたちを育むための取り組みへのご理解とご協力をお願いいたします。

『眠れなくなる宇宙のはなし』
佐藤勝彦／著 宝島社 2008 請求記号：440.2



『カラフル』 森絵都／著 理論社 1998
請求記号：F1 刊・91 ㊦

「おめでとうございます。抽選に当たりました！」と、見ず知らずの天使がぼくの行く手をさえぎった...。
大きなあやまちを犯して死んだぼく。しかし抽選に当たってしまい下界での再挑戦(修行)を命じられ、自殺したての小林真の体をかりて生活していく事に。
一見平凡な小林家。しかしふたを開けてみたら、偽善者な父、不倫中の母、嫌味な兄、と崩壊寸前。おまけに学校ではじめに合うし、片思いの子も援助交際しているし...。こんなシビアな状況下でも、無愛想な天使=プラプラとの拍子抜けした会話がとてもおもしろい。人生って窮屈で退屈だけど、見方次第かも!?
10代のうちに読んでほしい、おすすめの一作です。

展示の一部です

多摩市立図書館 〒206-0033 多摩市落合2-29

電話 042(373)7955

図書館ホームページアドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/>

FAX 042(375)9459

携帯電話アドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/i/>

2012年8月 発行





子どもの読書活動優秀実践校として

文部科学大臣表彰されました！



そこで、落合中学校でお話を伺ってきました。

「明るく開放感があり整理された図書室」というのが図書室に入った第一印象でした。授賞した喜びについて、案内していただいた山口教諭は「教員一人ひとりと学校図書館司書との日頃の取り組みを認めていただいた」と嬉しそうに話してくださいました。

毎年4月23日の

「子ども読書の日」に、

子どもの読書活動の推進に資するため、優れた取組等を行なっている学校等を文部科学省が表彰しています。

このたび、多摩市立落合中学校が「子どもの読書活動優秀実践校」として表彰されました。

読書の取組として、朝読書を行なっているので、生徒たちは本を読むのが好きです。特別支援学級では、国語の授業前に絵本の読み聞かせをしています。図書委員会は、図書新聞の発行や、お昼の放送で新着図書を紹介を行なっています。そうすると、昼休みに図書室へ生徒が来てくれるそうです。

『また来たい』と思ってくれる図書室にしたいと金子学校図書館司書は、雰囲気づくりにも気を配っています。たくさん本を読んだ子には、学校で表彰もしています。

調べ学習についても教えていただきました。以前は、せっかく生徒が本を探しに図書室へ来ても、目当ての本がみつからないまま時間が過ぎてしまい『本って面白いな』というところまでたどり着かなかつたけれど、多摩市立図書館との連携で、調べ学習の本も充実してきたため、様々な本を提案できるようになってきました。

また、在校生と卒業生のPTAの方が「図書ボランティア」として、学校図書館司書のいない時間に当番制で貸出・返却等の活動をしてくださっています。下の写真のような展示もして、生徒たちが本を手に取り、借りていっていただければと工夫しています。最近では、図書委員会の生徒と図



書ボランティアで顔合わせを行ないました。お互いの活動時間がなかなか合わないのですが、今後何か一緒に出来ればと思っているということでした。

生徒と教員が必要とする、情報や本、空間を適切に金子学校図書館司書が提供してくれること、図書館と教員、図書館と生徒、地域と図書館の繋がりがスムーズなこと。そうした環境を作ってあげることが、読書に向けての生徒のやる気を起こさせるポイントだそうです。

校長先生も、とても図書室に関心を寄せていて、校長室前には「校長室文庫」という本棚があります。最後に、校長先生おすすめの本を紹介していただきました。



『挫折と挑戦―壁をこえて行こう―（心の友だち）』中竹竜二著 P H P 研究所 2008
『はやぶさ、そうまでして君は―生みの親がはじめて明かすプロジェクト秘話―』川口淳一郎著 宝島社 2010

快く取材に応じてくださった落合中学校のみなさま、ありがとうございました。図書館では、今後も各学校の読書活動に協力していきます。

第二次多摩市子どもの読書活動推進計画

～すべての子どもに読書のよろこびを～

市民連絡会委員募集！！

子どもの読書活動を具体的に推進するため（平成24年度～平成28年度）市民連絡会委員を募集します。

推進連絡会は市民連絡会の他に、学校連絡会、庁内連絡会と、3つの代表者からなる全体会を開催していきます。それぞれの立場での様々な提案や意見を出し合い、共通のものとし連携をすすめていく場が、連絡会となります。

市民連絡会は、市民ボランティア・団体・第二次推進計画に関心のある市民のみなさまにご参加いただき、第二次多摩市子どもの読書活動推進計画を推進していきたいと考えています。



【対象】市民ボランティア（1団体2人以内）

団体（1団体2人以内）

第二次推進計画に関心のある市民

【会議予定】市民連絡会は、年5回程度開催予定

【任期】平成24年度から平成28年度までの5年間

【応募方法】図書館窓口にて申込書を配布しますので、（図書館ホームページにも掲載）必要事項をご記入のうえ、市内各図書館窓口までお持ちいただくか、郵送をお願いします。

【応募締切】平成24年9月5日（水）必着

【問い合わせ】〒206-0033 多摩市落合2-2-9

多摩市立図書館（本館）子ども読書支援担当

☎（373）7955（平日：午前9時30分～午後5時まで受付）

「秋色おはなし会」 IN 永山フェスティバル

今年もおはなしの語り手のみなさんと一緒に「秋色おはなし会」を行ないます。

第1部は、0・1・2歳児対象でわらべうたや布あそび、特大紙芝居などを行ないます。

第2部は、幼児から小学校低学年対象で語り（かたり）や特大絵本を中心にしたおはなし会です。

ご家族、お友達で、楽しいひと時を過ごしましょう。

【日時】9月22日（土）第1部：午前11時～11時25分

第2部：午前11時45分～12時15分

【会場】ベルブ永山4階 視聴覚室（永山図書館の上階）

【申込】不要 当日、直接会場へお越しください。

【問い合わせ】多摩市立図書館・本館 子ども読書支援担当

☎（373）7955（平日：午前9時30分～午後5時まで）

詳しくは、館内のポスター・チラシをご覧ください。

